

# 関西学院大学大学院理工学研究科

## 2026 年度入学試験

(一次：2025 年 8 月 1 日実施)

# 専門科目

## 建築学専攻

設計系(即日設計)

(13:10-16:10 180 分)

### 【試験にあたっての注意】

- 筆記用具（直定規、三角定規（勾配定規を含む）、三角スケール、鉛筆、シャープペンシル、芯ホルダー、字消し板、消しゴム、練りゴム、ペン、色鉛筆、ドラフティングテープ、鉛筆削り（芯研器を含む）、ティッシュペーパー、および貸与する平行定規）と電子式卓上計算機（プログラム機能のないもの）以外はカバンに入れ、カバンは床の上に置くこと。
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、音楽プレーヤー等の音の出る機器の電源を切ること。なお、アラームを設定している人は解除してから電源を切り、カバンにしまうこと。
- 時計のアラームは解除すること。携帯電話を時計として使用することは認めない。
- 試験の途中退場は認めない。ただし、やむを得ない場合は挙手し監督者に知らせること。
- 不審な言動は慎むこと。不正行為が発覚した場合、全科目を0点とする。
- 試験用紙は以下の構成となっている。
  - ① 問題冊子1冊
  - ② 解答用紙
- 指示があるまで問題冊子および解答用紙を開かないこと。
- 解答用紙のホチキスは、はずさないこと（提出時もホチキス留めのまま提出すること）。
- 各問題は、所定の解答用紙に解答すること。
- 解答にあたっては、問題冊子および解答用紙に書かれた注意に従うこと。
- 解答用紙には、氏名は記入せず、受験番号のみを記入すること。
- 原則、解答用紙の裏面使用は不可。やむを得ず解答欄が不足する場合は<裏面に続く>と記載することで、裏面への記載を認める。
- 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ること。

以上

# 2026 大学院入試 即日設計課題

## ■課題「学童保育施設」

郊外の住宅街の一面に、図のような東西 16m×南北 12m の敷地がある。周囲は低層の戸建住宅や集合住宅で囲われ、雑木林に隣接する良好な環境である。ここに子供たちが放課後の時間を過ごすことができる施設を設計せよ。子供たちが自由に心地良い時間を安心して過ごすことのできる空間を構築すること。内外空間の関係や敷地外の環境を考慮し、外部空間も利用できる施設を敷地内の外構デザインと一体に行うこと。

## ■設計条件

- ・ 施設は、敷地内で自由な位置に設定できるものとする。
- ・ 構造形式は自由、規模は延べ面積 100 m<sup>2</sup>程度、階数は 2 階以下、地階は設置不可。
- ・ 施設には子供食堂、キッチン、プレイルームと必要諸室を設けること。
- ・ 敷地内の既存樹木は残して、この樹木をうまく利用して設計すること。
- ・ 南側の雑木林とは自由に行き来できるものとする。
- ・ 建築関連法令への配慮は不要とする。

## ■所要図面

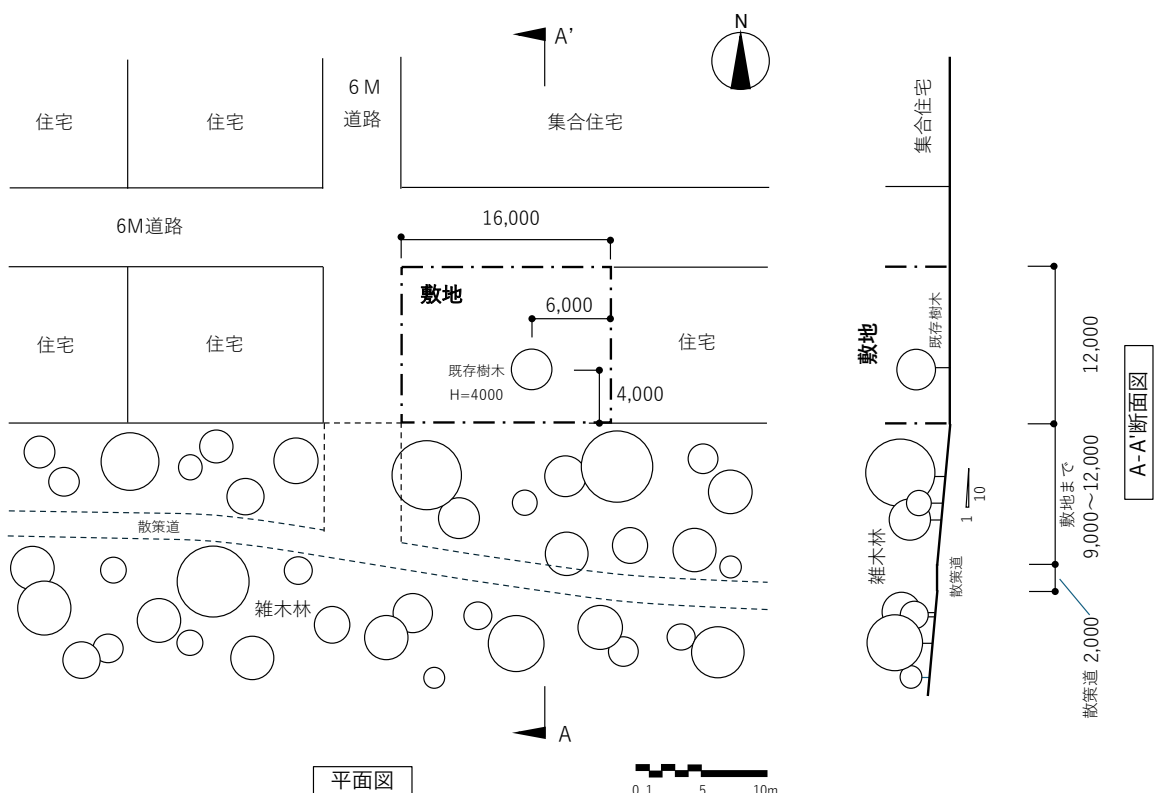
各階平面図（1 階平面図は配置図（外構デザインを表現すること）を兼ねる）1:100

断面図（1 面以上）1:100

設計意図を十分に表現できるスケッチパース（1 面以上、内外観を問わない）

設計趣旨 200 字程度

以上を A2 ケント紙（横使い）1 枚にまとめること。図面には主要寸法を記入すること。



### 出題の意図

郊外の良好な環境を有する住宅街に、子供たちが放課後の時間を過ごすことができる空間を提案する課題である。南側の雑木林に隣接する特徴的な敷地において、子供たちがどのように集い、どのような時間を過ごすことができるのかを、内外部空間の連続性、敷地内の既存樹木の有効利用、また敷地外部との関わりを考慮してわかりやすく描写し、的確に文章で要約することを期待する。

### 解答例

設計課題の特性上、解答例は提供していません。